

Ch
~m

令和3年7月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

夏
第153号

あちあい

責任者 谷口 俊顯 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310

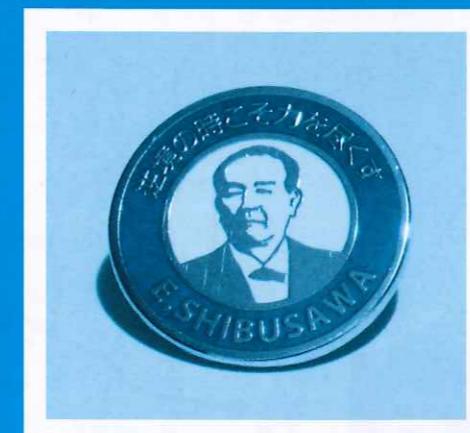


渋沢栄一の書（詳細は2ページ）



青淵は雅号

生家のすぐそばに川の淵（深い処）があり、
自分の家を淵上小屋と名付けて居た



「逆境の時こそ力を尽くす」ピンバッヂ
「逆境」当時 関東大震災
現在 新型コロナウイルス
渋沢が初代会頭の東京商工会議所
オリジナルグッズ

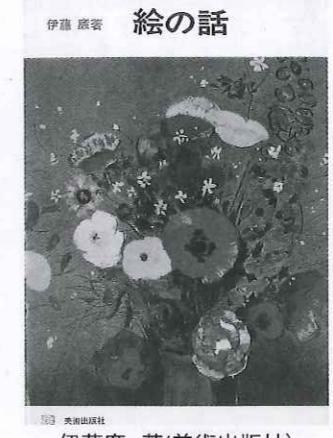
水水落合

大沼町志
父・大沼

卷之三

◇父・大沼静嚴氏がアトリエを構えた落合地域で、現在も創作を続いている大沼映夫氏。十代のころは思索にふけりながらまだ原っぱだったグランド下や神社のまわりを散策されていたそうですが、

絵書きというよりも学者のような先生たつたそうです。当時、人気の高かつた小磯良平、林武教室ではなく、伊藤教室を選んだのは「人数が少なか



伊藤廉 著(美術出版社)

「たし、一番女子学生が多かつたから」と映夫さんは茶目つ気たつぶりにおっしゃいます。三〇歳でオランダ政府給費留学生としてアムステルダム王立美術学校に留学。フランスに行く学生が多い中、オランダに留学することになったのは来校したオランダ大使館の参事官が学生たちの作品を見て、すぐに映夫氏を選出したからです。映夫氏の秀でた才能を物語るエピソードです。留学以前から影響をうけた画家はレンブラント。偶然とはいえオランダとの縁を感じます。

一年半の在学後も滞欧を続け、オランダ画壇での確固たる地位を築きました。異国の地で日本人

江戸時代は天和の頃から昭和三一（一九五七）年で農業を終えた渡辺家。落六小も元々は渡辺家が畑作をしていました。ここで生まれ育った渡辺文子さんが部屋の整理をしていたところ、貴重なモノクロ写真が綺麗な状態で多数出てきました。聞けば大正十二（一九二三）年～昭和五八（一九八三）年まで西落合にあった※「オリエンタル写真工業株式会社」に勤めていたお父様の文蔵さんが、自ら暗室で現像し、印画紙に焼き付けたものだそうです。



文子さんの祖父・渡辺源次郎さん
最後の農家



神田上水と妙正寺川、北側に広がる台地と、環境的基盤に恵まれた落合は江戸近郊の農村でした。が、その工程において水洗いを繰り返すため、写真工場用地としても適していたということでした。工場内には暗幕が張られ、豊富で良質な水が流れ、清潔にされていました。感光材料、写真乾板、印画紙を製造して有名企業に成長。写真学校や野球場もありました。——葛ヶ谷の若者たちにとって、オリエンタルに勤めるという事は憧れのもの。農業と比べ安定した生活が待っていたのです。

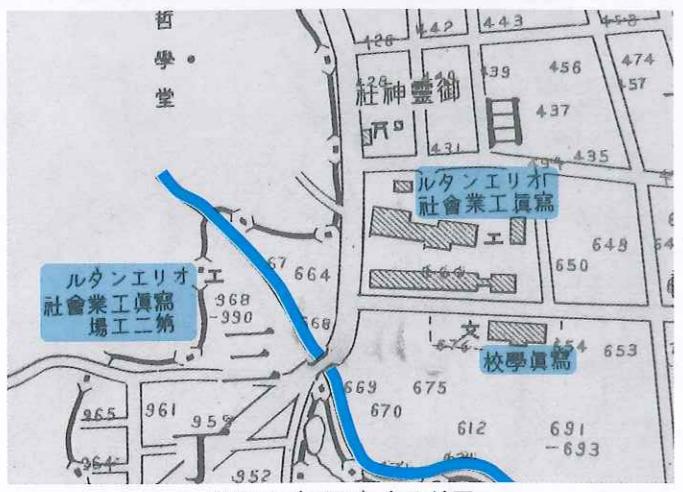
(中略) 昭和二年には西武線が開通し、朝、新井薬師前駅から坂道を歩く通勤の列は壯観でした。昭和八年に入社し野球部に在籍した名倉一良さんは『ふるさとは西落合』にこう書かれています。



第一工場と写真学校



ここに本社機能を移し、東証一部上場
全業へ



昭和10（1935）年の地図

「オリエンタル写真工業株式会社」を知っていますか？

「美しき日本の四季」 夏の句



(池永珠子)

初夏の街路樹白く光りけり
紫陽花の群咲く路地の行き止まり
うたた寝の覚めて涼しき通り雨
今朝も又命のかぎり蟬鳴けり

「美しき日本の四季」夏の句



大沼映夫氏 1988年頃
撮影：秋山庄太郎

学生には具体的な言葉は「描き続ける」と「好きで描いているのだから描き続けていれば、悩みは解決できる」「筆をはさないこと」学生には具体的な言葉で批評するのではなく、「あともう少し。」「まだまだ。」といふのはご自身の制作への問い合わせでもあるように思います。

つねに絵画の可能性を追い求め、自身が自分の絵を模倣しないように映夫氏は常に真摯に作品に向かいあつていています。

穏やかな笑みで語りながらも時々鋭いまなざしで質問に答えてくださった映夫氏。

コロナ禍にあつても悲観することなく、世の中がかわるよい機会とうけとめていらっしゃいます。緊急事態宣言下で美術館は閉館となつてしまいましてが、また新しい作品の発表を楽しみにしています。



美術館の女 1982年

「あともう少し。」「まだまだ。」といふのはご自身の制作への問い合わせでもあるよう思います。

つねに絵画の可能性を追い求め、自分が自分の絵を模倣しないように映夫氏は常に真摯に作品に向かいあつて います。

穏やかな笑みで語りながらも時々鋭いまなざしで質問に答えてくださった映夫氏。



マスク着用での閉会式の様子

令和3年4月4日（日）、戸山公園多目的運動広場にて、令和三年度新宿区民総合体育大会小学生野球大会（高学年の部）が開催され、落三ジユニアファイターズが見事3位入賞という好成績を收めました。コロナ禍での大会は、感染予防に留意し、開閉会式はマスク着用、ソーシャルディスタンスを堅持した上で行われました。

落三ジユニアファイターズ 区民総合体育大会（高学年の部）で3位入賞



表彰式・盾を抱えて記念写真

中井駅近くに移転しました。
移転日…令和3年3月22日
新住所…新宿区上落合二丁目22番19号
電話…03-5348-8871
FAX…03-5348-8872

新宿区落合第一高齢者総合相談センターが移転しました。

当町会の上落合
2丁目・3丁目地域は、栗の木のある原から「栗の原下」、古墳があつたことで、「大塚」と称されていました。縄文時代からの、おおらかで賑やかな風を感じる土地柄です。
盆踊り等の催しや防災・防犯パトロールなどを通して、より安全安心の地域を目指しております。今後ともご理解・ご支援賜りますようお願ひ申し上げます。

落一地区新町会長の挨拶

ご入園・ご入学おめでとう		
		令和3年5月1日現在
幼稚園	落合第三幼	10人
	落合第四幼	12人
小学校	落合第一小	93人
	落合第二小	56人
中学校	落合第三小	63人
	落合第四小	75人
中学校	落合第五小	43人
	落合第六小	39人
中学校	落合中	72人
	落合第二中	86人